OLYMPUS

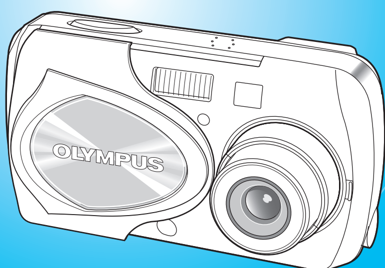
デジタルカメラ

μ-30 DIGITAL

取扱説明書

基本編

きほんの
操作が
わかる！



はじめに

このたびは、オリンパス製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。

取扱説明書は、以下のような構成になっています。ご使用の際は、これらの説明書をお読みになり、カメラを安全に正しくお使いください。

基本編（本書）

基本的な操作を説明しています。



初めてカメラをお使いになる方は、こちらからお読みください。

総合編

すべての機能を説明しています。



いろいろな機能をお使いになる時は、こちらをお読みください。

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用により、万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

電波障害自主規制について

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
- 本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI 基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、指定のケーブルをご使用ください。

商標について

- Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- Macintosh および Apple は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

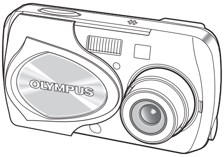
目次

目次

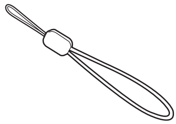
※黒文字で記載されている項目は総合編をご覧ください。 基礎編 総合編

※黒文字で記載されている項目は総合編をご覧ください。　基礎編　総合編

箱の中身を確認する



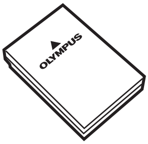
デジタルカメラ



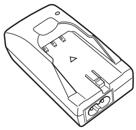
ストラップ



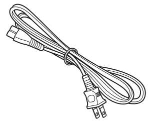
カード
（xDピクチャーカード）



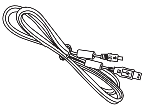
リチウムイオン電池
（LI-10B）



充電器（LI-10C）



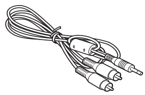
充電器用電源ケーブル



USBケーブル



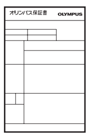
インフォメーション
ディスク
（CAMEDIA Master）



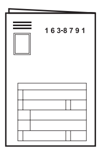
A/Vケーブル



取扱説明書
（基本編／総合編）



保証書



ご愛用者登録はがき

安全にお使いいただくために

製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の発生が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

カメラのお取り扱いについて

⚠ 危険

- **可燃性ガス、爆発性ガス等がある場所では使用しない。**これらのガスが、大気中に存在するおそれのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- **分解や改造をしない。**感電やけがをする原因となります。

⚠ 警告

- **フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない。**目に近づけて撮影すると、視力障害をきたすおそれがあります。
- **幼児、子供の手の届く場所に置かない。**以下のような事故発生のおそれがあります。
  - 誤ってストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
  - カードなどの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
  - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
  - カメラの動作部でけがをする。
- **カメラのファインダで日光や強い光を見ない。**視力障害をきたすおそれがあります。
- **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使ったり、保管しない。**火災や感電の原因となることがあります。
- **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない。**連続発光後も発光部分に手を触れないでください。やけどのおそれがあります。
- **内部に水や異物を入れない。**万一、水に落としたり、内部に水が入ったときは、火災や感電の原因となりますので、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店または当社サービスステーションにご相談ください。

⚠ 注意

- 異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常が生じたときは使用をおやめください。このようなときは、販売店または当社サービスステーションにご連絡ください。

（電池を取り出す際は、やけどの原因となりますので、素手で電池を触らないでください。また、可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。）

- ストラップで下げているときは、他のものに引っかかったりしないように注意してください。けがや事故の原因となることがあります。
- 温度の高い所へ放置しないでください。部品が劣化したり、火災の原因となります。
- 専用のACアダプタ以外は使用しないでください。カメラまたは電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用以外の AC アダプタの使用により生じた傷害は保証しかねますので、あらかじめご了承ください。
- カメラの外装の金属部分に、長時間触れないでください。長時間お使いになると、カメラの温度が高くなります。金属部分に皮膚が触れたまま長時間使用を続けると、低温やけどを起こすおそれがあります。低温下にさらされていると、カメラの外装も低温になります。皮膚が貼り付いてけがをする場合があります。低温やけどや傷害を防ぐため、手袋などをご使用ください。

カメラの使用条件について

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。本製品を使用または保管する場合、以下のような場所で長時間使用したり放置すると動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  - 高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露する場合があります。ビニール袋などに入れてカメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- 長期間使用しないと、カビがはえたり故障の原因となることがあります。使用前には動作点検されることをおすすめします。

カメラの液晶モニタについて

- 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い落としてください。
- 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めのとき、液晶モニタにギザギザが見えますが、故障ではありません。再生時には目立たなくなります。

次ページへつづく

- 一般に低温になるにしたがって液晶モニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶モニタは、常温に戻ると回復します。
- **本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

充電器のお取り扱いについて

⚠ 危険

- **充電器を濡らさない。**また濡れた手では、絶対に抜き差ししないでください。
- **充電器を布などで覆った状態で使用しない。**熱が発生し、火災の原因となります。
- **分解や改造をしない。**感電やけがをする原因となります。
- **指定の電源電圧で使用する。**火災・破裂・発煙・発熱・感電・やけどの原因となります。

⚠ 警告

- **充電中の充電器に長時間触れない。**低温やけどの原因となることがあります。
- **充電器の電源コードを傷つけない。**コードを引っ張ったり、継ぎ足したりは絶対にしないでください。必ずプラグを持って、抜き差しを行ってください。以下の場合は直ちに使用を中止し、販売店または当社サービスステーションにご相談ください。
  - 電源プラグやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出た場合。
  - コードに傷、断線、またはプラグに接触不良があった場合。

⚠ 注意

- 24 時間以上にわたる連続充電をしないでください。充電時間を超えても電池の充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- お手入れの際は、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。感電、けがの原因となります。

電池のお取り扱いついて

⚠ 危険

- **乳幼児の手の届かぬ場所で保管および使用する。**
- **火中への投下や、加熱をしない。**火災・破裂の原因となります。
- **強い日なた、炎天下の車内やストーブの前面など、高温の場所で使用・放置しない。**火災・発火の原因となります。

- **直接ハンダ付けしたり、変形や改造・分解をしない。**端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散の原因となり危険です。
- **＋－を金属等で接続しない。**金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- **電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐ水道水などのきれいな水で十分に洗う。**失明の原因となりますので、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

- **電池を濡らさない。**水や海水などにつけたりしない。
- **電池に強い衝撃を与えたり、キズをつけない。**
- **液漏れや、変色、変形その他異常を見つけたときは、使用しない。**
- **電池の液が皮膚・衣類へ付着したときは、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流す。**皮膚に傷害を起こす原因となります。

⚠ 注意

- 付属の電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電池の＋－極が汚れていると、接触不良を起こす原因となります。乾いた布で軽く拭いてください。
- カメラを長時間使用した後は、電池が熱くなっております。すぐに取り出さないでください。やけどの原因となります。
- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。なお、低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると回復します。
- **充電池は充電を繰り返すことにより性能が徐々に劣化します。規定の充電時間で充電しても、使用時間が短いと感じられる場合は、電池の寿命が考えられます。その場合は、新しいものとお取り換えください。**
- ご使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には＋－端子をテープで絶縁してから、最寄りの充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

カードのお取り扱いについて

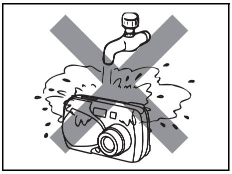
- カードは精密電子機器です。曲げたり、衝撃を与えないでください。また静電気には十分ご注意ください。カードに保存しているデータは、不揮発性の半導体メモリ内に保存されますが、間違った扱いをするとデータが破壊されます。
- カードを水に濡らしたり、ほこりの多い場所に放置しないでください。
- 高温多湿の場所でのご使用・保管は避けてください。
- 発熱物・発火物の近くでのご使用は避けてください。
- カードの金属部分に指紋や汚れが付着すると、データの読み書きが正常に行われないことがあります。その場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- **カードには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。その場合は、新しいものとお取り換えください。**
- **他の媒体に保存したデータの損害、またカード内のデータ消滅に関し、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。**

生活防水について

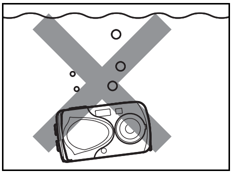
本製品は、生活防水機能をもっていますが、水中で使用することはできません。以下の点を守り正しくご使用ください。

お客様の誤ったご使用方法での浸水による故障は、保証対象外となりますのでご注意ください。

（生活防水：JIS 保護等級 4 相当（当社試験方法による）に該当し、いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響を受けないことをいいます。）



● 水で洗わないでください。



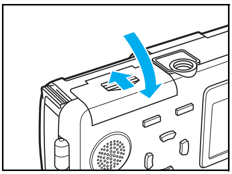
● 水の中に落とさないでください。



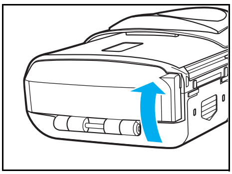
● 水中での撮影はできません。

● 電池カバー、コネクタカバー、DC入力端子カバーが以下の場合は浸水の原因になりますので、ご注意ください。

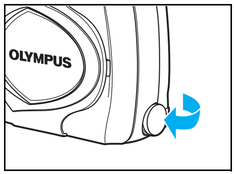
① カバーをしっかり閉めず、浮き上がっている。
② ゴムパッキングがつぶれたり、はがれている。
③ ゴムパッキングにゴミや砂が付着している。



● 電池カバーをしっかり閉めます。



● コネクターカバーをしっかり閉めます。

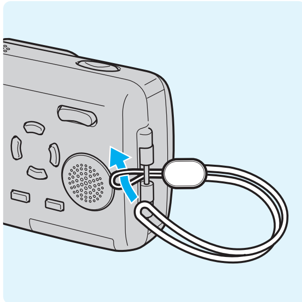


● DC入力端子カバーをしっかり閉めます。

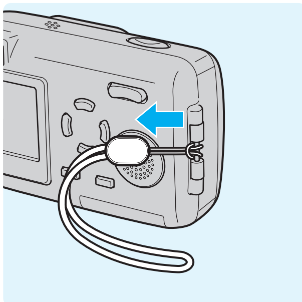
● 水しぶきなどを浴びて水滴がついた場合は、早めに乾いた布などでカメラをふき取ってください。
● ゴムパッキング部分の劣化およびキズがついた時は、当社サービスステーションにご相談ください（部品交換は有料となります）。
● 本製品の付属品（充電池など）は生活防水ではありません。

ストラップをつける

1 図のように、ストラップを通します。



2 少し強めに引っ張り、ゆるんで抜けないことを確認してください。



注　意

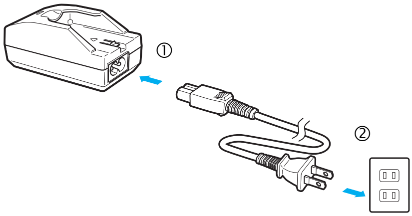
- ストラップを持ってカメラを振り回したり、無理に引っ張らないでください。ストラップが切れる場合があります。
- 手順にしたがってストラップを正しく取り付けてください。万一、誤った取り付けによりストラップが外れてカメラを落とすなどした場合、損害など一切の責任は負いかねますのでご了承ください。

電池を充電する

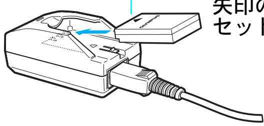
このカメラは付属のオリンパス製リチウムイオン電池（LI-10B）1 個を使用します。LI-10B 以外の電池は使用できません。
お買い上げの際の電池は十分に充電されていませんので、ご使用の前に専用の充電器（LI-10C）で充電してください。

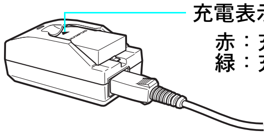
充電時間	約 2 時間

1 充電器用電源ケーブルを①②の順に差し込みます。



2 電池を充電器にセットすると赤ランプが点灯し、充電が開始されます。充電表示ランプが緑色になったら充電が完了です。





注 意

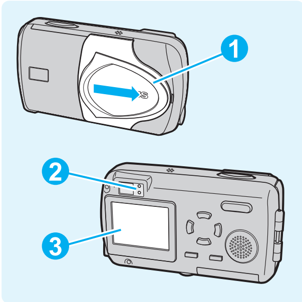
- 専用の充電器以外は使用しないでください。
- 長時間使用する場合や寒冷地で使用する場合は、予備電池（別売）のご用意をおすすめします。
- 充電器はAC100～240V（50/60Hz）の電圧範囲でご使用になれます。海外でご使用の際は、変換プラグアダプターが必要になる場合があります。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。
- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、充電器が故障することがありますので使用しないでください。

電池を入れる／取り出す

電池はオリンパス製リチウムイオン電池（LI-10B）1 個を使用します。

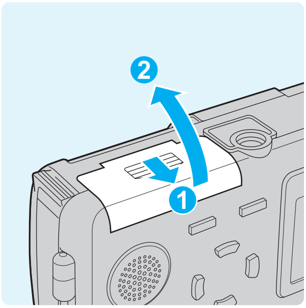
電池を入れる前、取り出す前に以下のことを確認してください。

① レンズバリアが閉じている
② ファインダ横のランプが消えている
③ 液晶モニタが消えている

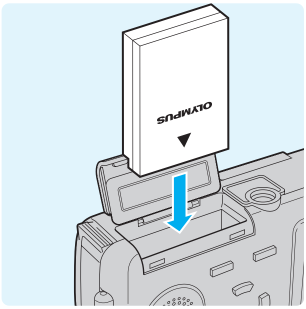


電池を入れる

1 電池カバーを矢印①②の順に開きます（①カバーをスライドし、②持ち上げます）。



2 図のように電池を入れます。



ヒント

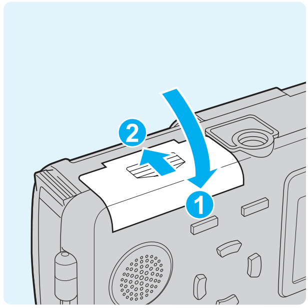
- 電池の向きが正しくないと、電池カバーが閉まりません。

準備

カメラを操作する前に

次ページへつづく

3 電池カバーを矢印①②の順で閉じます。



ヒント

- 電池カバーが閉まらないときは、無理に押さず、電池の向きを確認してください。
- 新品電池使用時の撮影枚数は以下のとおりです。

撮影枚数	約 150 枚以上

枚数測定条件は、以下のとおりです。

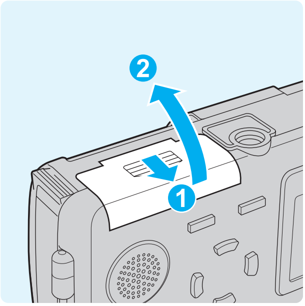
- 2枚連続撮影→10分放置→2枚連続撮影→10分放置を繰り返す。
- 常温25°C／画質：HQ／液晶モニタ点灯・フラッシュ発光50％／デジタルズーム：オフ／再生・パソコンとの通信なし。

注　意

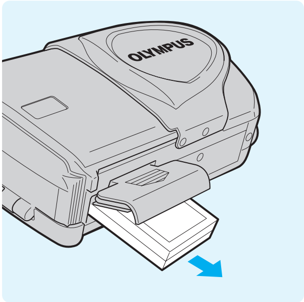
- 電池を外して約1日放置すると、日時設定は初期状態に戻ります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を消費するため、電池の消耗が早くなることがあります。
  - 長時間、液晶モニタを点灯する。
  - ズーム動作を繰り返す。
  - シャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
  - パソコンとUSBケーブルで接続している。

電池を取り出す

1 電池カバーを矢印①②の順に開きます（①カバーをスライドし、②持ち上げます）。



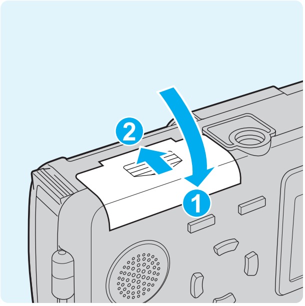
2 電池を取り出します。



注　意

- 底面を下に向けて電池カバーを開けると電池が落下し、危険です。

3 電池カバーを矢印①②の順で閉じます。

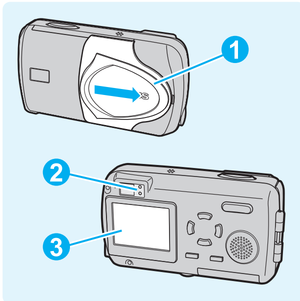


カードを入れる／取り出す

このカメラは、撮影した画像データを xD ピクチャーカード (カード) に記録します。カードが入っていないと撮影できません。

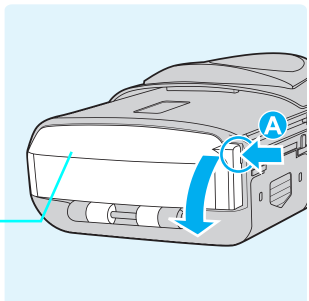
以下のことを確認してください。

① レンズバリアが閉じている
② ファインダ横のランプが消えている
③ 液晶モニタが消えている



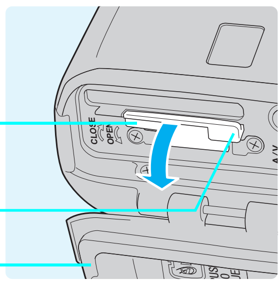
カードを入れる

1 Ⓐの部分を押しながらコネクタカバーを手前に引いて開けます。



コネクタカバー

2 茶色のカードカバーを開けます。指先でカードカバーのツマミを手前に引きます。



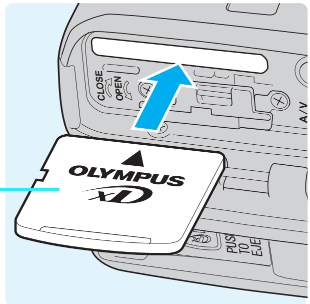
カードカバー

カードカバーツマミ

コネクタカバー

3 図のように、バネ式カードスロットにカードを入れます。

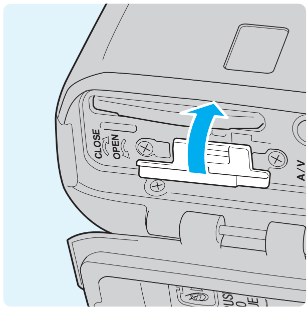
完全に入ると、カードがロックされます。



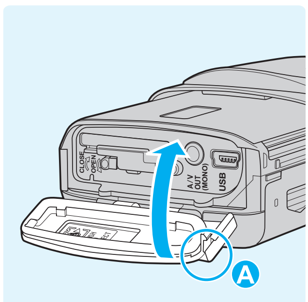
ヒント

- カードが止まるまで、奥まで差し込みます。
- カードを取り出すときは、もう一度、カードを押してください。

4 カードカバーを閉じます。



5 コネクタカバーのⒶの部分を押しながら閉じます。



ヒント

- カードカバーが開いていると、コネクタカバーが閉まりません。

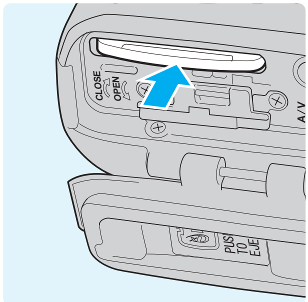
次ページへつづく

カードを取り出す

1 コネクタカバー、カードカバーの順に開けます。

2 カードを押します。

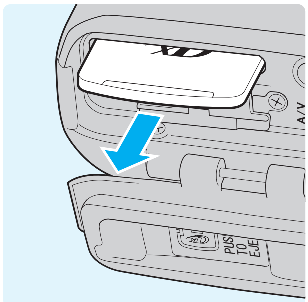
カードが手前に出ます。



注　意

- カードを押した際に、指をすぐに離したり、指ではじくようにして押すと、カードが勢いよく飛び出すことがあります。

3 カードを取り出します。



注　意

- カードはペンなどの先のとがったものや硬いもので押さないでください。
- カメラの電源が入っているときは絶対にカードカバーを開けないでください。カード内のデータが破壊されるおそれがあります。破壊されたデータの復旧はできません。

電源を入れる／切る

電源の入れ方は、「撮影モード」「再生モード」「パソコンに接続する」ときで操作が異なります。

ヒント

- カメラの電源が入っているときは、絶対に次の操作はしないでください。カード内のデータが破壊されるおそれがあります。破壊されたデータは復旧できません。
  - カードカバーや電池カバーを開ける
  - ACアダプタを抜き差しする

撮影するとき（撮影モード）

電源を入れる

レンズバリアを開けます。

レンズが繰り出し、液晶モニタに被写体が表示されます。



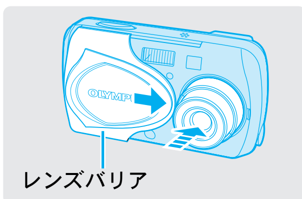
ヒント

- レンズが繰り出してこないときは、レンズバリアを開ききってください。
- 電源を入れたまま約3分間放置すると、電池の消耗を防ぐため待機状態になり、カメラは動作を停止します。さらに15分後には、自動的にレンズを収納します。▶ボタンを押すと復帰します。

電源を切る

レンズバリアを矢印方向に少しずらします。レンズが引き込まれたら、レンズバリアを閉じます。

液晶モニタが消灯します。



注　意

- レンズバリアを閉じる際は、レンズに強く押し当てないでください。キズや故障の原因になります。

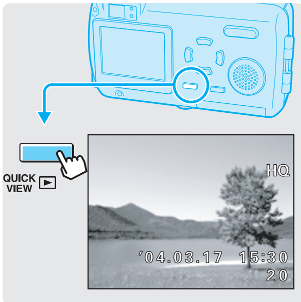
次ページへつづく

再生するとき（再生モード）

電源を入れる

➔ ▶ボタンを押します。

撮影した画像が再生されます。



ヒント
- レンズバリアを入れたまま約3分間放置すると、電池の消耗を防ぐため、電源が切れます。
- レンズバリアを開けた状態（撮影モード）で▶ボタンを押しても、再生モードになります。

電源を切る

➔ ▶ボタンをもう一度押します。

液晶モニタが消灯します。

ヒント
- レンズバリアが開いている場合は、撮影モードに戻ります。

パソコンに接続するとき

電源を入れる

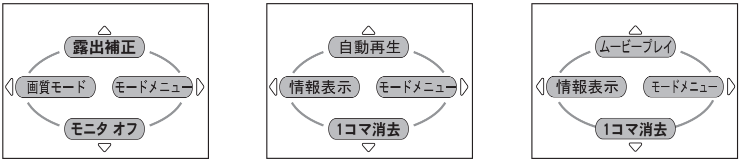
➔ ☞「カメラをパソコンに接続する」（P.48）

電源を切る

➔ ☞「カメラをパソコンから取り外す」（P.60）

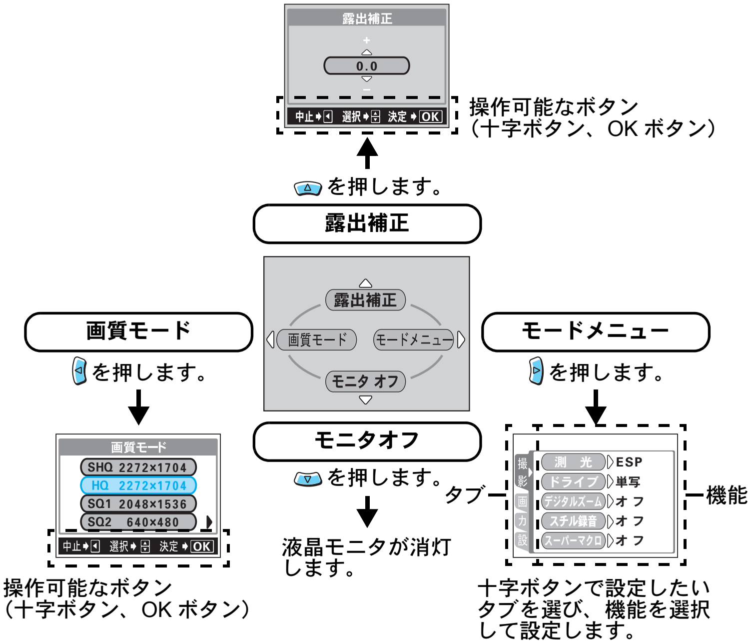
メニュー操作について

電源を入れてOKボタンを押したとき、液晶モニタに表示される画面をトップメニューといいます。トップメニューは「撮影モード」と「再生モード（静止画）」「再生モード（ムービー）」の3種類があります。十字ボタンで設定したいメニューを選択し、OKボタンで設定します。



撮影モード　　再生モード（静止画）　　再生モード（ムービー）

● ここでは、撮影モードの画面を使って、メニューのしくみについて説明します。



ヒント

- メニュー一覧については、P.63をご覧ください。
- メニュー画面をすぐ終了したいときは、もう一度OKボタンを押すと終了することができます。

準備

液晶モニタに表示される言語を設定する（）

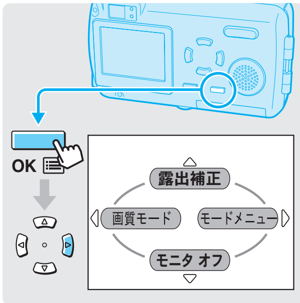
液晶モニタに表示されるメニューやエラーメッセージを日本語以外の言語に変更することができます。

1

レンズバリアを開け、OKボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

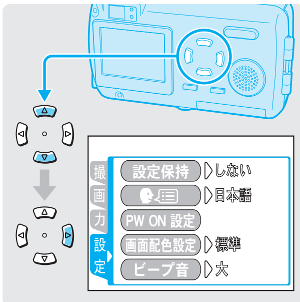
▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［設定］タブを選びます。

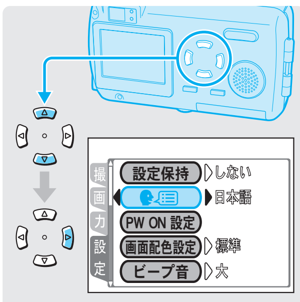
▷を押して、設定メニューに入ります。



3

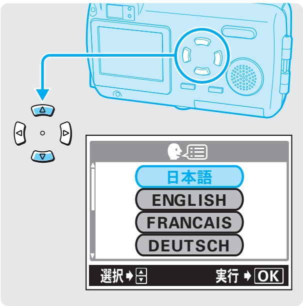
△または▽を押して［］を選びます。

▷を押して、の設定に入ります。



4

△または▽を押して表示したい言語を選びます。

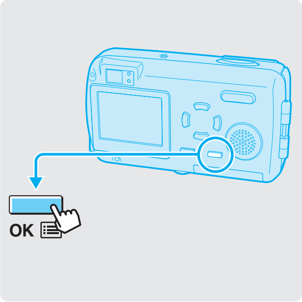


5

OKボタンを押します。

選んだ言語が設定されます。

もう一度、OKボタンを押すとメニューが終了します。



日付・時刻を設定する（日時設定）

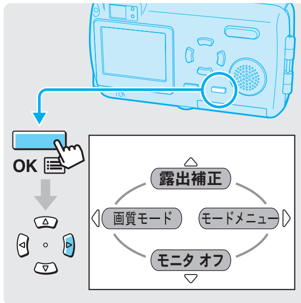
カメラをお使いになる前に日時設定を行ってください。パソコンで管理するときや、プリントするときに便利です。

1

レンズバリアを開けます。または▶ボタンを押して、OKボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

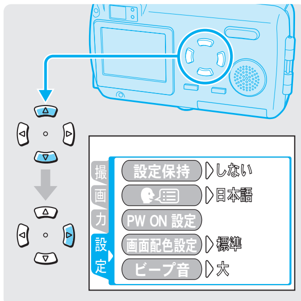
▷を押して、モードメニューに入ります。



2

△または▽を押して［設定］タブを選びます。

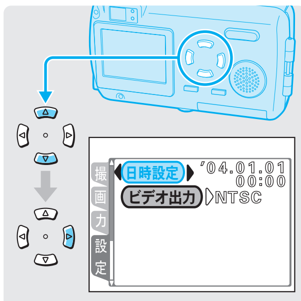
▷を押して、設定メニューに入ります。



3

△または▽を押して［日時設定］を選びます。

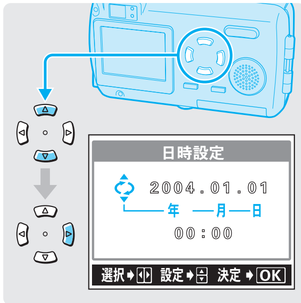
▷を押して、日時設定に入ります。



4

△または▽を押して日付の表示順を、［年-月-日］［月-日-年］［日-月-年］から選びます。

▷を押して、年の入力に移動します。



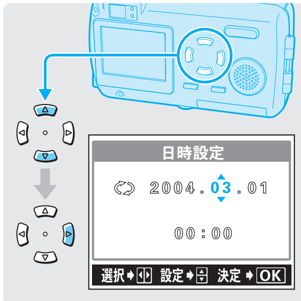
ヒント

- 以降の手順は［年-月-日］に設定した場合の説明です。

5

△または▽を押して年の下2ケタをそれぞれ設定します。
▷を押すと、月の設定に進みます。

操作を繰り返し、時刻まで設定します。



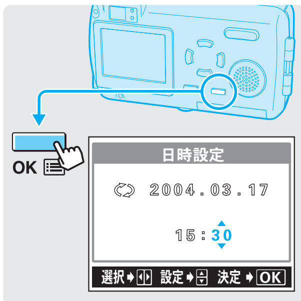
ヒント

- 時刻は24時間形式で表示されます。たとえば、「PM1:00」ではなく「13:00」のように表示されます。

6

OKボタンを押します。

もう一度、OKボタンを押すとメニューが消えます。



ヒント

- 0秒の時報に合わせてOKボタンを押すと、正確に時間を合わせられます。時計はこのとき動き始めます。

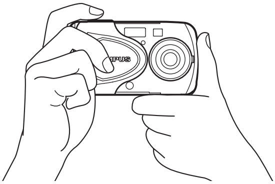
注　意

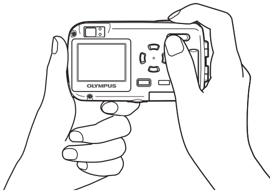
- 電池を外して約1日放置すると、日時設定は初期状態に戻ります。

カメラを正しく構える

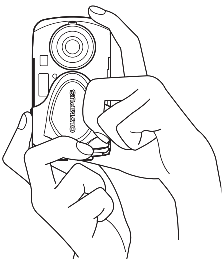
両手でしっかりカメラを持ち、脇をしっかりしめます。腕が伸びていたり、脇が開いていると手ぶれの原因となります。

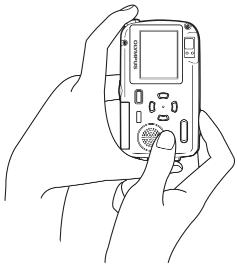
カメラを横に構える



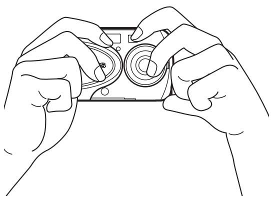


カメラを縦に構える





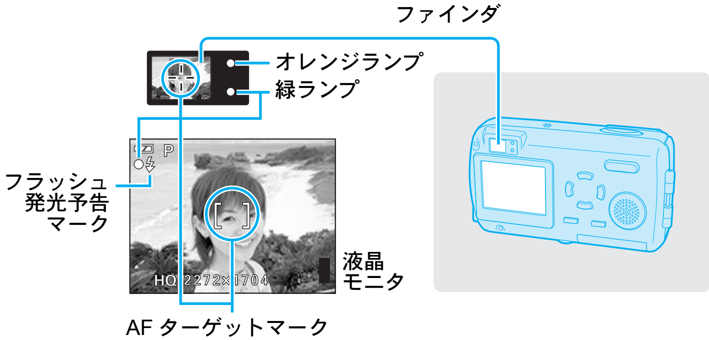
悪い例



レンズとフラッシュに指やストラップがかからないようにしてください。

撮影する

液晶モニタを見ながら撮影します。ファインダをのぞきながら撮影する場合も、同じ手順でシャッターボタンを押します。



1 レンズバリアを開けます。

電源が入り、レンズが繰り出して、液晶モニタが点灯し、撮影モードになります。



ヒント

- レンズが出てこないときは、レンズバリアが開ききっていません。

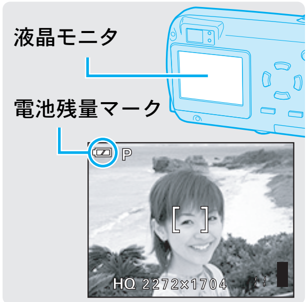
静止画の撮影

撮影

次ページへつづく

2 液晶モニタを見て、電池残量マークが（緑色）になっていることを確認します。

電池残量マークは、カメラの電源を入れてから最初の10秒間だけ表示されます。



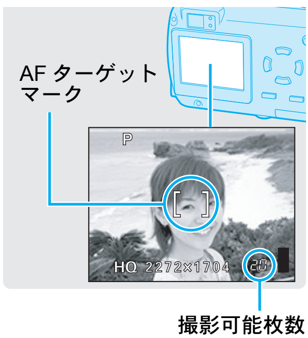
●電池残量マークについて

電池残量マークの状態は以下のように変化します。

点灯（緑）	撮影できます。
↓	
点灯（赤）	電池が残り少なくなりました。充電済みの電池と交換するか、充電してください。
↓	
液晶モニタ消灯 緑ランプとオレンジランプが点滅	電池がなくなりました。充電済みの電池と交換するか、充電してください。

3 AFターゲットマークを被写体に合わせます。

撮影可能枚数が液晶モニタに表示されます。



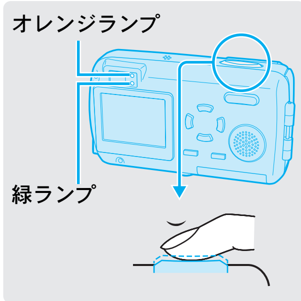
ヒント

液晶モニタが見にくい

- 晴天下のように明るい場所では、液晶モニタの画像に縦スジが入ることがあります。この場合は、ファインダを使って撮影してください。
- 明るい被写体にレンズを向けると、液晶モニタの画像にスミア（白い帯状の縞）が見られる場合がありますが、撮影画像への影響はありません。

4 シャッターボタンを軽く押します。（半押し）

ピントと露出が決まり、緑ランプが点灯します。

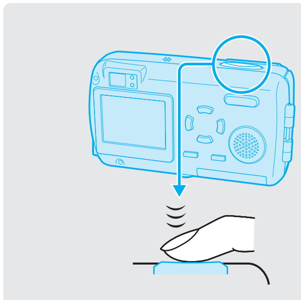


ヒント

- フラッシュが発光するときは、オレンジランプが点灯します。
- 緑ランプが点滅した場合（50cmより近い）は、ピントが合っていません。再度、シャッターボタンを軽く押し直してください。

5 半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押して、撮影します。（全押し）

撮影した画像がカードに記録されます。



ヒント

- カードへの記録中はオレンジランプが点滅します。
- 撮影した画像を再生する場合は、☞「再生する」(P.40) をご覧ください。

●メモリゲージについて

撮影すると、メモリゲージが点灯します。メモリゲージの点灯中は撮影した画像をカードに記録しています。メモリゲージがすべて点灯しているとき（右図の状態）は次の撮影はできません。しばらく待って、メモリゲージが消灯してから次の撮影をしてください。



メモリゲージ

6 レンズバリアを閉じると電源が切れます。

撮影モードを変える

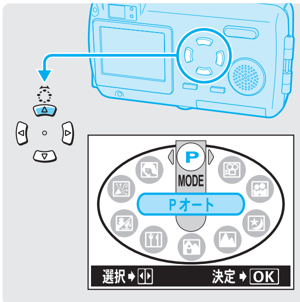
このカメラには、10 種類の撮影モードがあります。写真に合わせてモードを選ぶだけで、簡単に撮影を楽しむことができます。☞「撮影モードの種類」（P.33）

ヒント

- カメラに慣れるまでは、P（プログラム）オートで撮影することをおすすめします。

1 撮影モードでΔを押します。

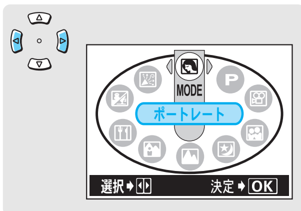
撮影モードを選ぶバーチャルダイヤル画面が表示されます。



バーチャルダイヤル画面

2 ◁または▷で撮影モードを選び、OKボタンを押します。

選んだ撮影モードに設定されます。



ヒント

- OKボタンを押さなくても撮影モードは変更され、バーチャルダイヤル画面は約3秒後、自動的に消えます。

撮影モードの種類

●P（プログラム）オート

シャッターボタンを押すだけです。カメラが最適と判断した状態で撮影ができます。

●ポートレート

人物撮影をするのに最適です。肌の質感をより美しく撮影します。



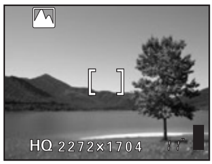
●記念撮影

人物と風景を一緒に撮るのに最適です。



●風景

遠くの風景もハッキリと、メリハリのあるシャープな写真が撮影できます。



●夜景

ライトアップされた建物など、夜景を撮るのに適しています。





ヒント

- フラッシュ発光時でもシャッター速度は1/30秒に固定されず、被写体や撮影時の状況に応じて最長4秒まで延びます。シャッター速度が遅いときは、手ぶれを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。

次ページへつづく

撮影モードを変える

●パーティショット



屋内で撮影するときに適しています。フラッシュ光が遠くまで届くように設定されていますが、（W：約 5.1m、T：約 2.8m）画質モードは1280 × 960以下に制限されます。

●ビーチ＆スノー



海岸や雪山での撮影に最適です。白砂や雪が白く美しく撮影されます。

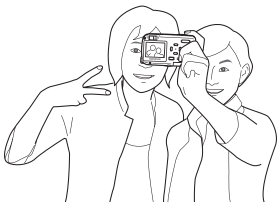
●料理



料理や素材を新鮮に鮮度よく撮影することができます。彩度、シャープネス、コントラストを高めに設定し、被写体を鮮やかにくっきりと撮ります。

●セルフポートレート

撮影者がカメラを持って、自分を撮るのに最適です。



ヒント

- 光学ズーム・デジタルズームはＷ側に固定され、使えません。
- スポット測光は使えません。

●ムービー

ムービー（動画）を撮影できます。

ズームを使う

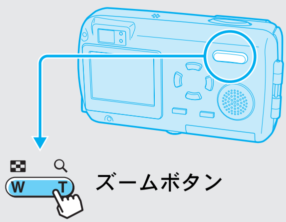
このカメラは、3 倍のズーム撮影が可能です。

ズームボタンを押して、撮影する範囲や構図を決めます。

撮影モードでズームボタンを押します。

ズームボタンのTを押し続けると、遠くのものが大きくなります。（望遠）

ズームボタンのWを押し続けると、広い範囲を撮ることができます。（広角）



フラッシュを使う

カメラはあらかじめオート発光に設定されていますが、撮影目的に合わせて、以下の 4 種類から選べます。

オート発光（初期設定）

暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。

赤目軽減

暗いところで人物を撮影すると目が赤く写ることがありますが、[赤目軽減] に設定するとこの現象が軽減されます。フラッシュが発光する前に数回の予備発光をさせて、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。

注　意

- 最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。カメラをしっかり構えて手ぶれを防いでください。
- フラッシュを正面から見ていない場合や、予備発光を見ていない場合、距離が遠い場合などや個人差により、赤目軽減の効果が現れにくくなります。

強制発光

撮影場所の明るさに関係なく、フラッシュを必ず発光させます。木かげなどで顔にかかった陰をやわらげるときや逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影に使います。

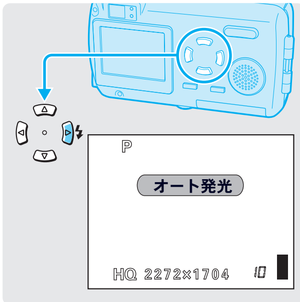
発光禁止

フラッシュは発光しません。美術館など、フラッシュを使えない場所で設定します。

注　意

- 暗いところの撮影ではシャッタースピードが長くなりますので、カメラぶれを防ぐため三脚のご使用をおすすめします。

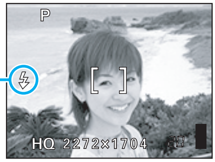
1 撮影モードで▷を繰り返し押して、フラッシュの設定を切り替えます。



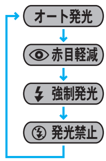
ヒント

- フラッシュの選択画面は自動的に消えます。

［オート発光］以外のフラッシュに設定すると、画面にフラッシュマークが表示されます。



2 フラッシュの設定の順番は、矢印の順に変わり「発光禁止」の次は「オート発光」に戻ります。



●フラッシュ到達距離について

フラッシュ使用時の適正撮影距離は以下のとおりです。

撮影距離（広角W側）	0.2～3.6 m
撮影距離（望遠T側）	0.2～2.0 m

●フラッシュ充電時間について

フラッシュ充電中はオレンジランプが点滅します。

フラッシュ充電時間	約6秒

画像のサイズと画質を変える（画質モード）

画像をカードに記録するときの画像サイズと画質を選びます。
画像サイズと画質を用途に応じて選びます。カメラはあらかじめ HQ に設定されています。

画質モード	画質	画像サイズ		使用例
SHQ	きれい	2272 × 1704（低圧縮）	大きい	大きくプリントする。パソコンで画像編集する。
HQ	ふつう	2272 × 1704（以下標準圧縮）	↑	ハガキサイズにプリントする
SQ1		2048 × 1536		L版にプリントする
SQ2		1600 × 1200		Webに掲載する。Eメールに添付する。
		1280 × 960		
		1024 × 768	↓	
		640 × 480	小さい	

●カード容量ごとの撮影可能枚数

画質モード / カード容量	SHQ	HQ	SQ1	SQ2			
				1600 × 1200	1280 × 960	1024 × 768	640 × 480
16MB	5	16	20	24	38	58	99
32MB	11	33	40	49	76	117	199
64MB	22	66	81	99	153	234	398
128MB	45	133	163	199	307	469	798
256MB	90	266	326	399	614	940	1598
512MB	181	532	652	798	1229	1879	3195

ヒント

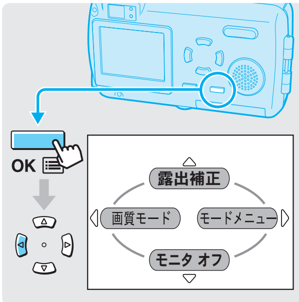
- カードの記録可能枚数はおおよその目安です。
- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。
  撮影や画像の消去をしても、撮影可能枚数は変わらないことがあります。
- スチル録音時は、撮影可能枚数が少なくなります。

1

撮影モードでOKボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

を押して、画質モードの設定に入ります。

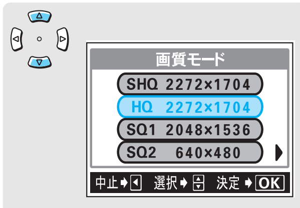


2

または を押して［SHQ］［HQ］［SQ1］［SQ2］から選びます。

［SHQ］［HQ］［SQ1］を選んだ場合は、手順4へ進みます。

［SQ2］を選んだ場合は、手順3へ進みます。



3

を押して、SQ2設定画面を表示します。
または を押して画像サイズを選び、OKボタンを押します。



4

OKボタンを押します。

選んだ画質モードが設定されます。

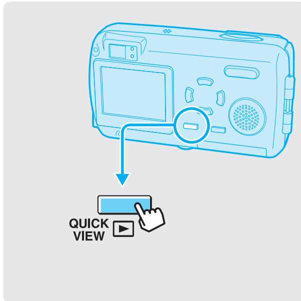


再生する

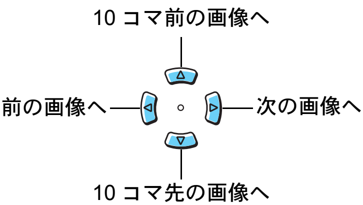
再生モードにすると、最後に撮影した画像が液晶モニタに再生されます。十字ボタンを押して、再生する画像を切り替えます。

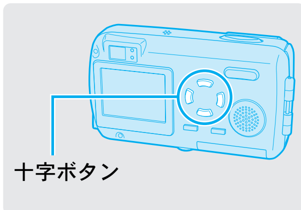
1 ▶ボタンを押します。

再生モードになり液晶モニタに撮影した画像が再生されます（QUICK VIEW）。



2 再生中に十字ボタンを押して、画像を切り替えます。





ヒント

- レンズバリアを開けて撮影中に ▶ ボタンを押して再生モードにした場合は、次の動作で撮影モードに戻ります。

  ▶ボタンを押す／シャッターボタンを半押しする

3 ▶ボタンを押すと、再生モードが終了します。



ヒント

- レンズバリアが閉じている場合は、電源が切れます。
- レンズバリアが開いている場合は、撮影モードに戻ります。

1 コマ消去

デジタルカメラは不要な画像をすぐに消去することができます。消去すると撮影可能枚数が増えます。

注 意

- 消去した画像は元に戻せません。

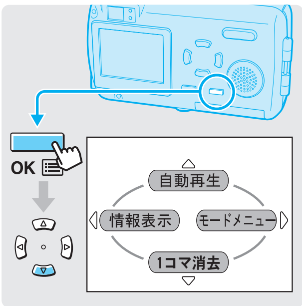
1 再生モードで消去したい画像を選びます。

☞「再生する」（P.40）

2 OKボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

▽を押して、1コマ消去を選びます。



3 △を押して［消去］を選びます。

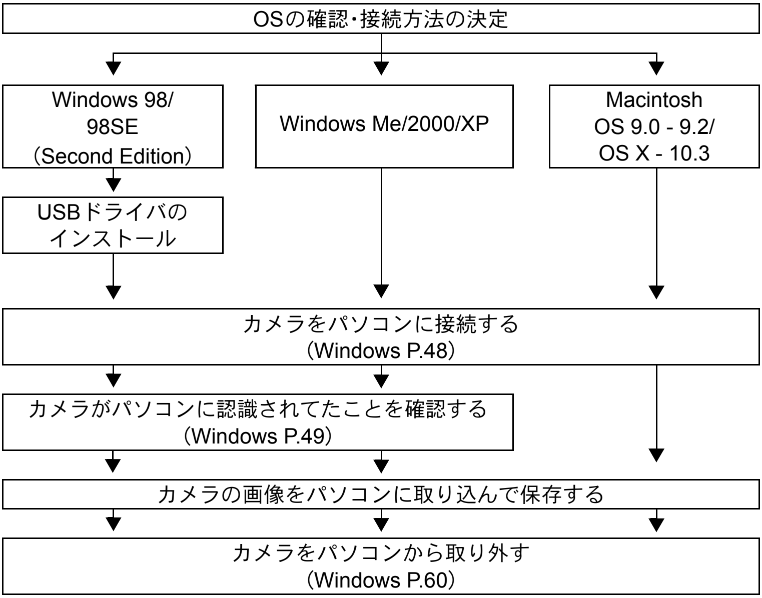
OKボタンを押します。

再生している画像が消去されます。



操作の流れ

付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラのカードに保存されている画像をパソコンに取り込むことができます。お使いのパソコンのOSによっては、初めて接続する前にはパソコンの設定が必要になります。以下の手順にしたがって進めてください。



注　意

以下のOS、仕様についてはUSB端子を装備していても正常な動作の保証はできません。

- Windows 95/NT 4.0
- Windows 95からアップグレードしたWindows 98/98SE
- Macintosh OS 8.6以下のバージョン
  （ただし、出荷時にUSB端子、USB MASS Storage Support 1.3.5を装備したMacintosh OS 8.6は動作確認がされています。）
- 拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン
- 出荷時にOSがインストールされていないパソコンおよび自作パソコン

注　意

- カメラをパソコンに接続して使用するときは電池の残量が十分にあることをご確認ください。パソコンとの接続中（通信中）は、カメラの電池は常時通電（消耗）しますので、電池の残量にご注意ください。電池の残量がなくなると、カメラは途中で動作を停止します。カメラが動作を停止すると、パソコンが誤動作したり、パソコンとカメラの通信中の場合は画像データ（ファイル）を壊すことがあります。長時間の接続にはご注意ください。パソコンとの通信時には、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。
- 電池でカメラを動作させてパソコンと接続しているとき、ACアダプタを抜き差しするとカード内の画像データが破壊されたり、パソコンが誤動作することがあります。ACアダプタの抜き差しはパソコンとカメラの接続を外しカメラの電源が切れていることを確認したうえで行ってください。
- USB ハブを経由してカメラを接続すると、動作が不安定になることがあります。万一異常が起きた場合は、ハブを使用しないでパソコンとカメラを直接接続してください。
- 画像処理は、必ずパソコンにコピーしてから行ってください。ソフトウェアによってはファイル（画像）がカードの中にある状態で画像処理（画像の回転など）を行うと、ファイルが壊れる可能性があります。

ヒント

- パソコンに読み込んだ画像は、CAMEDIA MasterやPaint Shop Pro、Photoshopなどのグラフィックソフトやインターネット閲覧ソフト（Netscape Communicator／Microsoft Internet Explorerなど）のJPEGを扱えるアプリケーションソフトウェアでも見ることができます。市販の画像処理ソフトの使用方法については、対応ソフトの説明書を参照してください。
- パソコンでムービーを再生するには、QuickTimeがインストールされている必要があります。QuickTimeは付属のCD-ROMに収録されています。

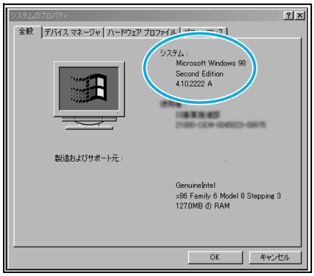
OSの確認

カメラの画像をパソコンに取り込む方法を決めるため、お使いのパソコンのシステムを確認します。
☞Macintosh の場合は、総合編（P.156）をご覧ください。

Windows の場合

1 デスクトップの「マイコンピュータ」を右クリックして「プロパティ」を選びます。
WindowsXPの場合は、スタートメニューの「マイコンピュータ」を右クリックして、「プロパティ」を選びます。

2 お使いのシステム（OS）を確認します。



接続方法の決定

接続方法は、以下の 3 種類から選びます。

1. 付属の USB ケーブルを使って、カメラをパソコンに接続する。
   ☞ 「Windows の場合」（P.48）

2. 別売の PC カードアダプタ（MAPC-10 など）をパソコンに差し込んで使う。
   ☞ 詳しくは、PC カードアダプタの説明書をご覧ください。

3. 別売の USB リーダライタ（MAUSB-10 など）をパソコンにつなげて使う。
   ☞ 詳しくは、USB リーダライタの説明書をご覧ください。

	1 USBケーブル	2 PCカードアダプタ （別売）	3 USBリーダライタ （別売）
Windows Me/2000/XP	○	○	○
Windows 98/98SE	○	○	○
Windows NT4.0	×	×	×
Windows 95	×	○	×
Macintosh 9.0-9.2、10.3	○	○	○
Macintosh 8.6以下	×	○	○

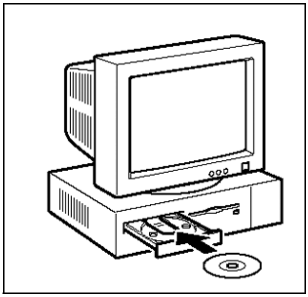
ヒント

● PCカードアダプタ（別売）とUSBリーダライタ（別売）の詳しい情報については、ホームページでご覧ください。☞http://www.olympus.co.jp/

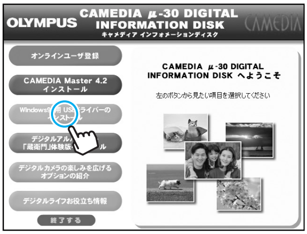
USBドライバのインストール（Windows98/98SEのみ）

Windows98/98SEの場合は、初めてパソコンとカメラを接続するときに、USBドライバをインストールする必要があります。
以下の手順にしたがって、インストールしてください。正しくインストールできたら、2回目の接続からこの操作は必要ありません。

1 カメラに付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れます。



2 「Windows 98用USBドライバーのインストール」ボタンをクリックします。

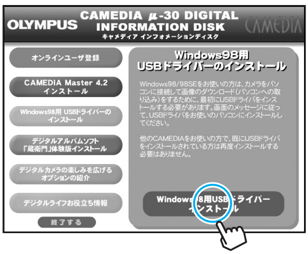


ヒント

この画面が自動表示されない場合は次の操作を行ってください。

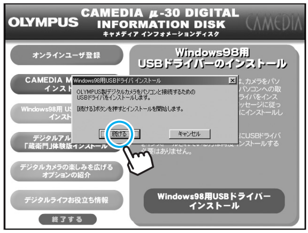
1. デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
2. CD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」をクリックします。

3 画面右下の「Windows 98用USBドライバーインストール」ボタンをクリックします。

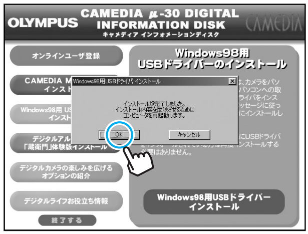


4 「続ける」ボタンをクリックします。

ドライバのインストールが始まります。

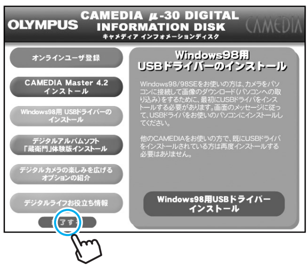


5 インストールが終了すると右の画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。



6 パソコンが再起動後、インフォメーションディスクのメニュー画面が表示されていたら「終了する」をクリックし、CD-ROMドライブからCDを取り出してください。

以上でWindows 98用USBドライバのインストールは完了です。



カメラをパソコンに接続する

付属の USB ケーブルを使って、カメラをパソコンに接続します。
Windows98/98SE の場合は、接続の前に USB ドライバのインストールが必要です。☞「USB ドライバのインストール」（P.46）

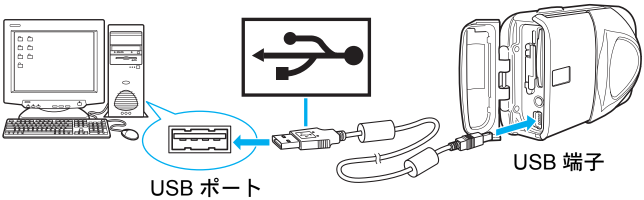
1 パソコンの電源を入れます。

カメラの電源が切れている（レンズバリアが閉じている、液晶モニタが消灯している）ことを確認します。

2 USBケーブルのプラグを、パソコンのUSBポートに差し込みます。

USBケーブルのもう一方をカメラのUSB端子に差し込みます。

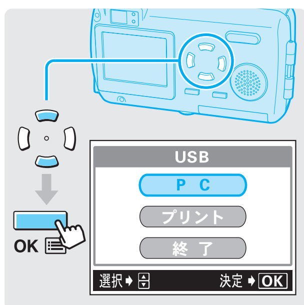
カメラの電源が自動的に入り、ファインダ横の緑ランプが点灯します。



ヒント

- 初回のみパソコンが自動的にこのカメラを認識する処理を行いますので、処理が終わるまでお待ちください。

3 △または▽を押して［PC］を選択し、OKボタンを押します。

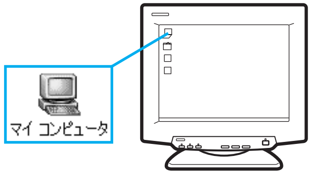


カメラがパソコンに認識されたことを確認する

パソコン上で、カメラが認識されていることを確認します。

Windows 98/98SE/Me/2000 の場合

1 パソコンのデスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。



ヒント

- カメラが正しく認識されると「リムーバブルディスク」アイコンが表示されます。

2 「リムーバブルディスク」アイコンをダブルクリックします。



ヒント

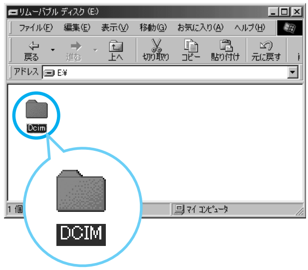
- リムーバブルディスク（E:）のEは、パソコンの環境によって異なります。
- 「リムーバブルディスク」アイコンが無い場合や「準備ができていません」などのメッセージが表示された場合は、次のような問題が考えられます。
  ①カメラの電源（ACアダプタの接続状態、電池の残量）に問題がある。
  →ACアダプタの接続状態、電池の残量をご確認ください。
  ②カメラにカードが入っていない。または、カードに問題がある。
  →画像が、カメラの液晶モニタで再生できるかご確認ください。
  この操作を行うには、カメラをパソコンから取り外す必要があります。
  ③カメラとパソコンの接続に問題がある。
  →USBケーブルの接続状態をご確認ください。

次ページへつづく

カメラがパソコンに認識されたことを確認する

3 「DCIM」フォルダがあることを確認してください。

以上でカメラが認識されました。パソコン上でファイル操作ができます。



Windows XP の場合

カメラを認識すると、画像ファイルの操作を選択する画面が表示されます。

ヒント

- 画面が表示されないときは、タスクバーの［スタート］－［マイコンピュータ］の順にクリックし、「リムーバブルディスク」アイコンをダブルクリックします。☞手順2へ進みます。

1 「フォルダを開いてファイルを表示する」を選んで「OK」をクリックします。



2 「DCIM」フォルダが表示されることを確認してください。

以上でカメラが認識されました。パソコン上でファイル操作ができます。

CAMEDIA Master をインストールする（初回のみ）

CAMEDIA Master 4.2 は、デジタルカメラで撮影した画像を編集・管理するためのソフトウェアです。画面表示がわかりやすく、簡単な操作で、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンでお楽しみいただけます。
QuickTime、CAMEDIA Master 4.2、Acrobat Reader などをインストールします。なお、画面の表示はご購入のカメラおよびご使用のパソコン (OS) によって若干異なる場合があります。

☞ Macintosh の場合は、総合編（P.170）をご覧ください。

Windows の場合

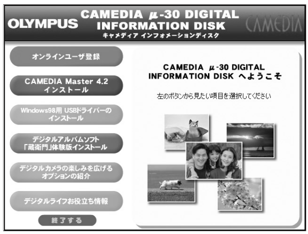
CAMEDIA Master 4.2 は次の動作環境でご利用ください。

OS	Windows98SE/Me/2000/XP
CPU	Pentium II 以上
RAM	128MB 以上（256MB 以上を推奨）
ハードディスク容量	120MB 以上（インストール時）
コネクタ	USB ポート（USB 接続）
モニタ	800 × 600 ドット以上、65,536 色以上
CD-ROM ドライブ	
Internet Explorer 4.0 以上（オンラインヘルプ表示用）	

OS がプレインストールされているパソコンが対象です。

- Windwos XP は Windows XP Professional/Home Edition に対応しています。
- Windows 2000 は、Windows2000 Professional に対応しています。

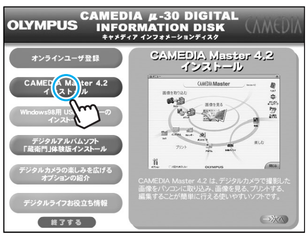
1 パソコンを起動してCD-ROM ドライブに付属のCD-ROM を挿入します。



Information Diskの画面が表示されます。

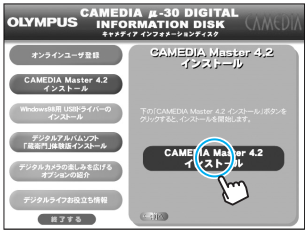
ヒント
- 表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、CD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。

2 「CAMEDIA Master 4.2インストール」ボタンをクリックします。
画面の右側の説明を読みながら「次へ」ボタンをクリックして進みます。



次ページへつづく

3 画面右側の「CAMEDIA Master 4.2インストール」ボタンをクリックします。



以降、QuickTime、CAMEDIA Master、Acrobat Readerの順にインストールをします。

ヒント

- ご使用のパソコンに最新のQuickTime、Acrobat Readerがインストールされている場合は、インストール画面が表示されません。

CAMEDIA Master のインストール

① 「次へ」をクリックします。



ヒント

- QuickTimeがすでにインストールされている場合は、ここから進みます。

② 使用許諾契約画面が表示されたら、ご確認のうえ「はい」をクリックします。



③ お名前とシリアル番号を入力します。



注　意

- 0（ゼロ）とO（オー）、0（ゼロ）とD（ディー）、1（イチ）とI（アイ）、2（ニ）とZ（ゼット）、8（ハチ）とB（ビー）、U（ユー）とV（ブイ）、などの入力にご注意ください。
- シリアルNo.はCD-ROMの表紙の下部分をご参照ください。



入力したら「次へ」を繰り返してクリックします。

セットアップが開始されます。

しばらくすると、インストールが完了し、
引き続き、Acrobat Reader のインストールが開始されます。

Acrobat Readerがインストールされている場合は、ここでインストールは終了します。☞「CAMEDIA Masterを起動する／終了する」(P.54)

CAMEDIA Master を起動する／終了する

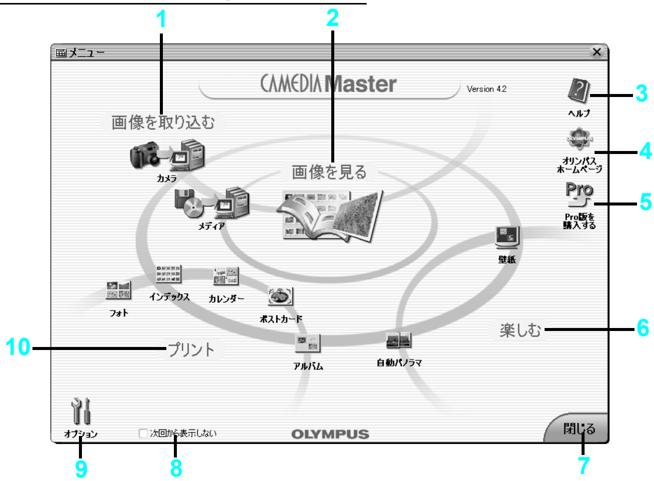
Windows の場合

1 デスクトップの「CAMEDIA Master」アイコンをダブルクリックします。



メインメニューが表示されます。

CAMEDIA Masterメインメニュー



1 **画像を取り込む**

カメラ	パソコンに接続したカメラから画像を取り込みます。
メディア	メディア（フロッピーディスク、光磁気ディスク（MO）、CD-ROM、スマートメディアなどの記録媒体）から画像を取り込みます。

2 **画像を見る**

メディアやCAMEDIA Master内（マイアルバム）の画像を表示します。

3 **ヘルプ**

ヘルプファイルを表示します。

4 **オリンパスホームページ**

オリンパスのWebページ（ホームページ）を表示します。

5 Pro版を購入する

CAMEDIA MasterのPro版の購入に関する情報を表示します。

6 楽しむ

自動パノラマ	2枚以上の画像を貼り合わせて、1枚の水平パノラマ画像を作成します。
壁紙	編集した画像をパソコンの壁紙にします。

7 閉じる

CAMEDIA Masterを終了します。

8 次回から表示しない

チェックマークを付けてCAMEDIA Masterを終了すると、次回起動時にメインメニューを表示せず、アルバムウィンドウを直接表示します。

9 オプション

メニュー画面の背景色を切り替えたり、「マイアルバム」の保管場所を選択します。

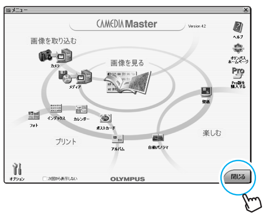
10 プリント

メディアやCAMEDIA Master内（マイアルバム）の画像を、4つのフォーマット（フォト、インデックス、カレンダー、ポストカード）に配置してプリントします。

ヒント

- CAMEDIA Masterの説明書を見るには、タスクバーから［スタート］–［プログラム］–［OLYMPUS CAMERA］–［取扱説明書］の順にクリックします。

2 CAMEDIA Master を終了する場合は、メインメニューから［閉じる］をクリックします。CAMEDIA Masterが終了します。



カメラの画像をパソコンに取り込んで保存する

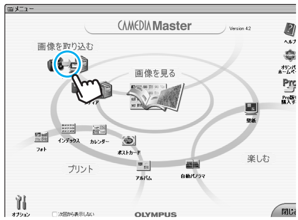
「カメラ」から画像を取り込んでアルバムを作成し、パソコンに保存する方法について説明します。

ヒント

- 「カメラ」から取り込む場合は、オリンパス製カメラが接続されている必要があります。☞「カメラをパソコンに接続する」（P.48）
- 「メディア」から取り込む方法もあります。詳しくはCAMEDIA Masterのヘルプをご覧ください。

● カメラから取り込む

1 メインメニューの「画像を取り込む–カメラ」をクリックします。



- カメラが自動検索され、取り込みウインドウが表示されます。
- ウインドウ左側にカメラ内のすべての画像がサムネイルで表示されます。
- ウインドウ右側は取り込むパソコン内のアルバムが表示されます。



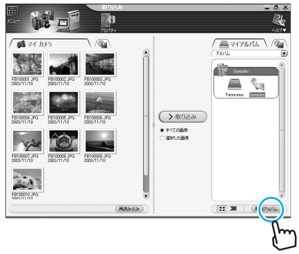
取り込み先のグループとアルバムを作成します。

インストール直後はサンプルとして、Sample グループに Panorama と Samples というアルバムが入っています。

ここではグループ名を「Photos」、アルバム名を「20031110」として、画像を取り込みます。

2 グループを作成します。

① 取り込みウィンドウ右下の「新規アルバム」ボタンをクリックします。



● 「新規アルバムの作成」ダイアログが表示されます。

② グループをクリックし、「名前」にPhotosと入力して「**OK**」ボタンをクリックします。

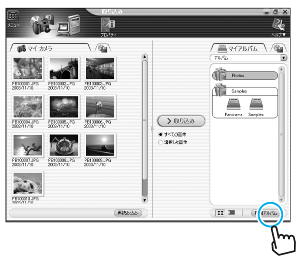


● ウインドウ右側に「Photos」というグループができました。



3 「Photos」のグループに「20031110」というアルバムを作成します。

① 右下の「新規アルバム」ボタンをクリックします。



● 「新規アルバムの作成」ダイアログが表示されます。

次ページへつづく

② 「名前」に20031110と入力して「**OK**」ボタンをクリックします。



- ウインドウ右側の Photos グループの中に「20031110」というアルバムができました。



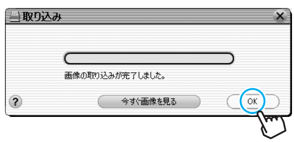
4 画像を取り込みます。

① 「取り込み」ボタン下にある「すべての画像」を選択した状態で「取り込み」をクリックします。

ヒント

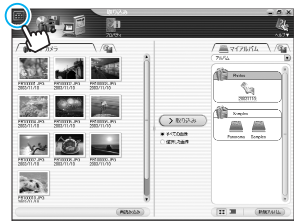
- 既存のアルバムに取り込みたい場合は、目的のアルバムをクリックしてアルバムが開いた状態で「取り込み」をクリックします。
- 選んだ画像だけ取り込みたい場合は、取り込みボタン下にある「選択した画像」ラジオボタンをクリックし、画像を選択してから「取り込み」ボタンをクリックします。複数の画像を選択するには、Ctrlキーを押しながら、クリックします。

② 取り込みダイヤログが表示されますので、取り込みが完了しましたら「**OK**」をクリックします。



- アルバムへの取り込みが完了しました。

③ 取り込みウインドウ左上の「メニュー」アイコンをクリックするとメインメニューへ戻ります。



5 カメラをパソコンから取り外します。

☞「Windows 98/98SEの場合」（P.60）
☞「Windows Me/2000/XPの場合」（P.61）

ヒント

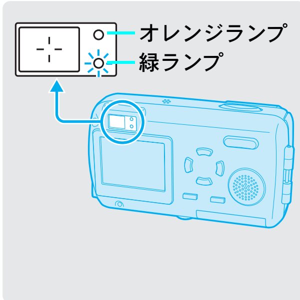
- 画像をパソコンに取り込んだ後は、カメラの電池の消耗を防ぐため、速やかにカメラをパソコンから取り外してください。

カメラをパソコンから取り外す

Windows 98/98SE の場合

1 カメラのオレンジランプが消灯していることを確認します。

ただし、緑ランプは点灯してます。

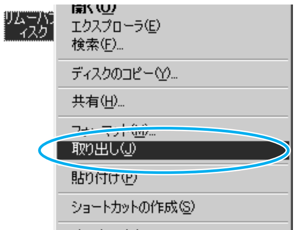


ヒント

- オレンジランプが点灯または点滅しているときは、消灯するまでお待ちください。
- オレンジランプが消灯しないときはカメラがソフトウェアにアクセスしている場合があります。お使いになったソフトウェアを閉じてください。

2 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして「リムーバブルディスク」を右クリックし、メニューを表示させます。

3 メニューの「取り出し」をクリックします。



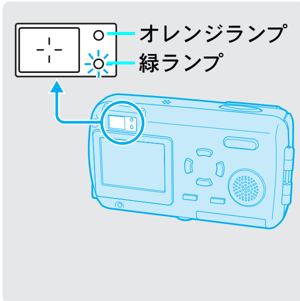
4 カメラとパソコンからUSBケーブルを取り外します。

カメラの緑ランプが消えます。

Windows Me/2000/XP の場合

1 カメラのオレンジランプが消灯していることを確認します。

ただし、緑ランプは点灯してます。

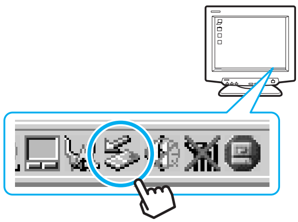


ヒント

- オレンジランプが点灯または点滅しているときは、消灯するまでお待ちください。
- オレンジランプが消灯しないときはカメラがソフトウェアにアクセスしている場合があります。お使いになったソフトウェアを閉じてください。

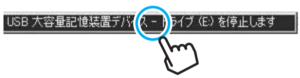
2 タスクバーに表示されている「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。

ドライブを停止するメッセージが表示されます。



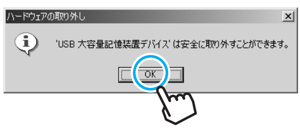
Windows XPをお使いの場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。
「USB大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します」または「USB大容量記憶装置デバイスを停止します」というメッセージが表示されます。

3 メッセージをクリックします。



「ハードウェアの取り外し」ウィンドウが表示されます。

4 ウィンドウが表示されたら「OK」をクリックします。



5 カメラとパソコンからUSBケーブルを抜きます。

カメラの緑ランプが消えます。

その他の機能

キャメディアインフォメーションディスク内の CAMEDIA Master は、カメラで撮影した画像を簡単に楽しむためのソフトウェアです。CAMEDIA Master には以下のような機能があります。

●画像を取り込む	● カメラから取り込む ● メディアから取り込む ● 取り込み先を指定する(アルバム／カレンダー／フォルダ)
●画像を見る	● 画像を見る ● 動画を見る ● 表示モードを変更する ● サウンドを再生する ● ファイルを検索する ● ファイル情報を確認･変更する
●画像を編集する	● 回転させる／反転させる／サイズ変更する／トリミングする／テキストを挿入する／テンプレートと合成する／歪みを補正する／フィルタ機能を使う ● 切り取った･コピーした画像を貼り付ける ● 画像を保存する
●プリントする	● フォトプリント／インデックスプリント ● カレンダー／ポストカード／アルバム
●その他の活用法	● 画像を壁紙にする ● パノラマ画像を作成する
●ファイルを整理する	● グループ･アルバムを作成する ● フォルダを作成する ● 画像･ファイルを管理する

☞ 詳しくは CAMEDIA Master と同時にインストールされる説明書をご覧ください。説明書はメインメニュー画面で右上の「ヘルプ」アイコンをクリックすると表示されます。

メニュー一覧

撮影時と再生時のメニューの構成を、それぞれ静止画とムービーに分けて以下に示します。

●撮影メニュー（静止画）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	総合編
モードメニュー	撮　影	測光	ESP／スポット	P.80
		ドライブ	単写／連写	P.87
		デジタルズーム	オフ／オン	P.70
		スチル録音	オン／オフ	P.94
		スーパーマクロ	オン／オフ	P.83
		パノラマ		P.89
		合成ツーショット		P.92
	画像	ホワイトバランス	オート／晴天／曇天／電球／蛍光灯	P.77
	カード	カードセットアップ	フォーマット／中止	P.52
	設　定	設定保持	する／しない	P.33
			日本語／ENGLISH／FRANÇAIS／DEUTSCH／ESPAÑOL	P.29
		PW ON設定	画面：オフ／1／2／3 音量：オフ／小／大	P.44
		画面配色設定	標準／サンピンク／サンデーグリーン／アクアブルー	P.46
		ビープ音	オフ／小／大	P.38
		シャッタ音	オフ／1／2／3	P.40
			小／大	
		レックビュー	オフ／オン	P.36
		ファイル名メモリー	リセット／オート	P.48
		ピクセルマッピング		P.56
		モニタ調整		P.54
		日時設定		P.31
		ビデオ出力	NTSC／PAL	P.104

▭ は工場出荷時の設定（初期設定）

付録

次ページへつづく

画質モード			SHQ／HQ／SQ1／SQ2	P.74
露出補正			–2.0～0～+2.0	P.79
モニタオン			モニタオフ／モニタオン	P.51

●撮影メニュー（ムービー）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	総合編
モードメニュー	撮　影	測光	ESP／スポット	P.80
		デジタルズーム	オフ／オン	P.70
		スーパーマクロ	オン／オフ	P.83
	画像	ホワイトバランス	オート／晴天／曇天／電球／蛍光灯	P.77
	カード	カードセットアップ	フォーマット／中止	P.52
	設　定	設定保持	する／しない	P.33
			日本語／ENGLISH／FRANÇAIS／DEUTSCH／ESPAÑOL	P.29
		PW ON設定	画面:オフ／1／2／3 音量:オフ／小／大	P.44
		画面配色設定	標準／サンピンク／サンデーグリーン／アクアブルー	P.46
		ビープ音	オフ／小／大	P.38
		ファイル名メモリー	リセット／オート	P.48
		ピクセルマッピング		P.56
		モニタ調整		P.54
		日時設定		P.31
		ビデオ出力	NTSC／PAL	P.104
画質モード			HQ／SQ	P.123
露出補正			–2.0～0～+2.0	P.79
モニタオン			モニタオフ／モニタオン	P.51

□ は工場出荷時の設定（初期設定）

付録

●再生メニュー（静止画）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢	総合編
モードメニュー	再　生	プロテクト	オフ／オン	P.114
		回転表示	0°／+90°／–90°	P.101
		プリント予約	1コマ予約／全コマ予約	P.134
	編　集	モノクロ作成	新規作成／中止	P.108
		セピア作成	新規作成／中止	P.110
		リサイズ	640 × 480／320 × 240／中止	P.112
	カード	カードセットアップ	全コマ消去／フォーマット	P.117、52
	設　定	設定保持	する／しない	P.33
			日本語／ENGLISH／FRANÇAIS／DEUTSCH／ESPAÑOL	P.29
		PW ON設定	画面：オフ／1／2／3 音量：オフ／小／大	P.44
		画面配色設定	標準／サンピンク／サンデーグリーン／アクアブルー	P.46
		再生音量	オフ／小／大	P.42
		ビープ音	オフ／小／大	P.38
		モニタ調整		P.54
		日時設定		P.31
		ビデオ出力	NTSC／PAL	P.104
		インデックス表示	4／9／16	P.97
自動再生				P.103
情報表示				P.107
1コマ消去			消去／中止	P.116

［　］は工場出荷時の設定（初期設定）

次ページへつづく

メニュー一覧

●再生メニュー（ムービー）

トップメニュー ▶	タブ ▶	項目 ▶	選択肢 ▶	総合編
モードメニュー	再　生	プロテクト	オフ／オン	P.114
	カード	カードセットアップ	全コマ消去／フォーマット	P.117、52
	設　定	設定保持	する／しない	P.33
			日本語／ENGLISH／FRANÇAIS／DEUTSCH／ESPAÑOL	P.29
		PW ON設定	画面：オフ／1／2／3 音量：オフ／小／大	P.44
		画面配色設定	標準／サンピンク／サンデーグリーン／アクアブルー	P.46
		再生音量	オフ／小／大	P.42
		ビープ音	オフ／小／大	P.38
		モニタ調整		P.54
		日時設定		P.31
		ビデオ出力	NTSC／PAL	P.104
		インデックス表示	4／9／16	P.97
ムービープレイ		ムービー再生	再生／コマ送り／中止	P.127, 128
		インデックス作成	新規作成／中止	P.130
情報表示				P.107
1コマ消去			消去／中止	P.116

□ は工場出荷時の設定（初期設定）

付録

カメラの仕様

形式		： デジタルカメラ（記録・再生型）
記録方式		
	静止画	： デジタル記録、JPEG（DCF準拠）
	対応規格	： Exif 2.2、DPOF、PRINT Image Matching II、PictBridge
	動　画	： QuickTime Motion JPEGに準拠
記録媒体		： xDピクチャーカード（16～512MB）
記録コマ数（16MB使用時）		： 静止画

画質	画像サイズ	カード記録可能枚数
SHQ	2272 × 1704	5
HQ		16
SQ1	2048 × 1536	20
SQ2	1600 × 1200	24
	1280 × 960	38
	1024 × 768	58
	640 × 480	99

ムービー

● 一度に連続して撮影できる時間（秒）

画質	画像サイズ	カード記録秒数
HQ	320 × 240（15コマ／秒）	20
SQ	160 × 120（15コマ／秒）	90

カメラ部有効画素数	： 400万画素
画像素子	： 1/2.5型CCD（原色フィルター）
レンズ	： オリンパスレンズ5.8～17.4 mm（35 mmフィルム換算35～105 mm相当）、F3.1～5.2
測光方式	： 撮像素子によるデジタルESP測光方式、スポット測光
シャッター	： 1/2～1/1000秒（夜景モードでは最大4秒）
撮影距離	： 0.5m～∞（通常）、0.2m～∞（マクロ撮影時）、0.09m～0.5m（スーパーマクロ）
ファインダ	： 光学実像式ファインダ
液晶モニタ	： 1.5型（インチ）TFTカラー液晶、134,000画素
フラッシュ充電時間	： 約6秒
コネクタ	： DC入力端子、USB端子（mini-B）、オーディオ／ビデオ出力端子
自動カレンダー機能	： 2000～2099年の範囲で自動修正

カメラの仕様

生活防水	種類	：	JIS保護等級4相当（当社試験方法による）
	意味	：	いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響のないもの
使用環境	温度	：	0～40℃（動作時）／–20～60℃（保存時）
	湿度	：	30～90％（動作時）／10～90％（保存時）
電源		：	専用リチウムイオン充電池または専用ACアダプタ
大きさ		：	99 × 56 × 33.5 mm（突起部を除く）
質量		：	159g（電池／カード別）

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

付録

付属品の仕様

xD ピクチャーカード

形式	：	デジタルカメラ用　xD-Picture Card
メモリーの種類	：	NAND型フラッシュEEP-ROM
メモリーの容量	：	16MB
駆動電圧	：	3V（3.3V）
使用周囲温度	：	0～55°C（動作時）／–20～65°C（保管時）
使用周囲湿度	：	95％以下（動作・保管時）
大きさ	：	約20 × 25 × 1.7 mm

充電器（LI-10C）

定格入力	：	AC100～240V（50/60Hz） 10VA（100V）～13VA（240V）
定格出力	：	DC4.2V、700mAh
充電時間	：	約120分
使用周囲温度	：	0～40°C（動作時）／–20～60°C（保存時）
大きさ	：	46 × 37.5 × 86 mm
質量	：	約75g

リチウムイオン充電池（LI-10B）

形式	：	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	：	DC3.7V
公称容量	：	1090mAh
充放電回数	：	約300回 （使用する条件により異なります。）
使用周囲温度	：	0～40°C（充電時）／–10～60°C（動作時）／ 0～30°C（保存時）
大きさ	：	31.9 × 45.8 × 10 mm
質量	：	約35g

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

メモ

サポートカルテ

送付先：オリンパス株式会社カスタマーサポートセンター

FAX 0426-42-7486

サポートカルテ

お名前	フリガナ
連絡先ご住所	□自宅　□会社 〒 電話 FAX E-mail

お問い合わせ日　年　月　日	お買い上げ日：　年　月　日
製品名（型番）	
シリアル番号 （製品底面に記載されています）	
問題が発生したときの症状・表示されたメッセージ・症状の再現性など： （より正確・迅速にお答えするために、できるだけ詳しくお知らせください。）	
パソコンが関係する問題は、とくに正確な状況把握が難しいので、お手数ですができるだけ詳しくお知らせください。 ●ご使用のパソコンの種類： （メーカー・型番等） ●メモリの容量： ●ハードディスクの空き容量： ●OS名とバージョン： ●ご使用のパソコンのドライバ： （Mac OSの場合）コントロールパネルや機能拡張の内容： （Windowsの場合）コントロールパネル–システム–デバイスマネージャーの内容： ●その他接続されている周辺機器名： ●問題のご使用アプリケーションソフト名： バージョン： ●問題のご使用弊社ソフト名： バージョン：	

OLYMPUS®

オリンパス株式会社
〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

μ-30 DIGITAL　基本編

ホームページのご案内

http://www.olympus.co.jp/

ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&Aなどの各種情報をご提供しております。オリンパスホームページ（**http://www.olympus.co.jp/**）から「お客様サポート」→「デジタルカメラ／プリンタ関連」へ進み、ご利用ください。

商品に関するお問い合わせ窓口（オリンパスカスタマーサポートセンター）

フリーダイヤル 0120-084215

携帯電話・PHS からは 0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。より迅速、正確にお答えするためにお手数ですが、裏面のサポートカルテの内容をあらかじめご確認ください。

営業時間　**平日**　9：30〜21：00
土・日・祝日　10：00〜18：00
（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先

TEL 0266-26-0330　**FAX 0266-26-2011**

〒394-0083　長野県岡谷市長地柴宮3-15-1
オリンパス岡谷修理センター

営業時間　9:00〜17:00（土・日・祝日及び弊社休日を除く）

国内サービスステーション（修理受付窓口）

東　京	〒101-0052	千代田区神田小川町１の３の１ 小川町三井ビル（オリンパスプラザ内）	Tel.03（3292）3403
札　幌	〒060-0034	札幌市中央区北４条東１の２の３　札幌フコク生命ビル	Tel.011（231）2320
仙　台	〒981-3133	仙台市泉区泉中央１の 13 の４　泉エクセルビル	Tel.022（218）8421
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦２の 19 の 25　日本生命広小路ビル	Tel.052（201）9571
大　阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場２の 12 の 26　オリンパス大阪センター	Tel.06（6252）6995
広　島	〒730-0013	広島市中区八丁堀 16 の 11　日本生命広島第２ビル	Tel.082（228）3821
福　岡	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通３の６の 11　福岡フコク生命ビル	Tel.092（761）4466

※ 土・日曜、祝日および年末年始・夏期休暇は原則として休業させていただきます。
オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。

Printed in China
VT692702